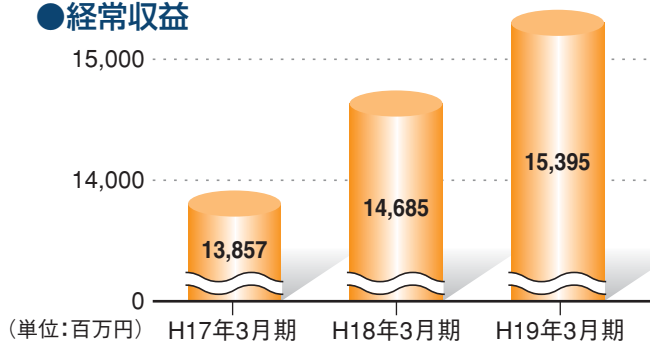


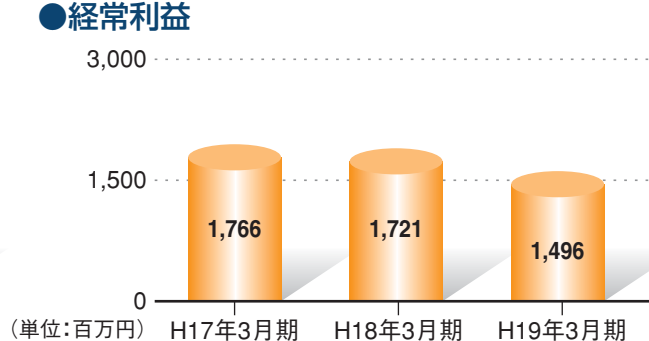
経常収益は、投資信託や保険商品等の預り資産の販売による手数料収入の増加及び有価証券の売却益等により前期比7億10百万円増収の153億95百万円となりました。

経常利益は、当期中に実施いたしました2度の預金金利上げの影響等により、前期比2億25百万円減少し、14億96百万円となりました。

## ●経常収益

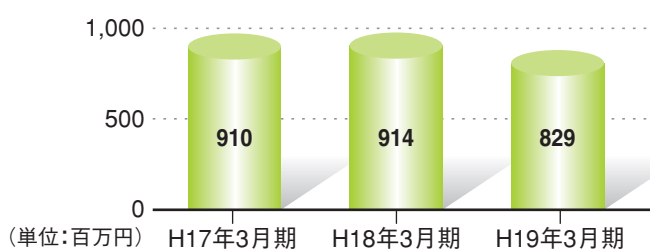


## ●経常利益

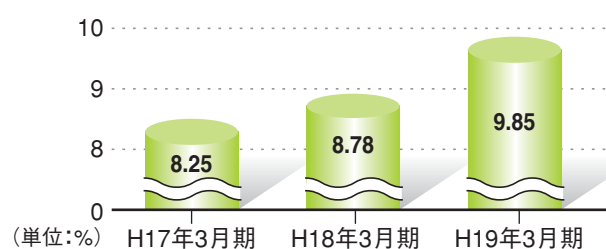


引当金の計上基準等の改正を受け、当期より役員退職慰労引当金を計上しており、過年度分を含めた1億72百万円を費用計上しております。これにより、従来の方法に比べ、当期純利益は1億72百万円減少しており、前期比85百万円減少の8億29百万円となりました。連結自己資本比率は資本金の増加と内部留保の充実により9.85%となりました。なお平成19年2月にCB(転換社債型新株予約権付社債)30億円がすべて株式に転換終了しております。

## ●当期純利益



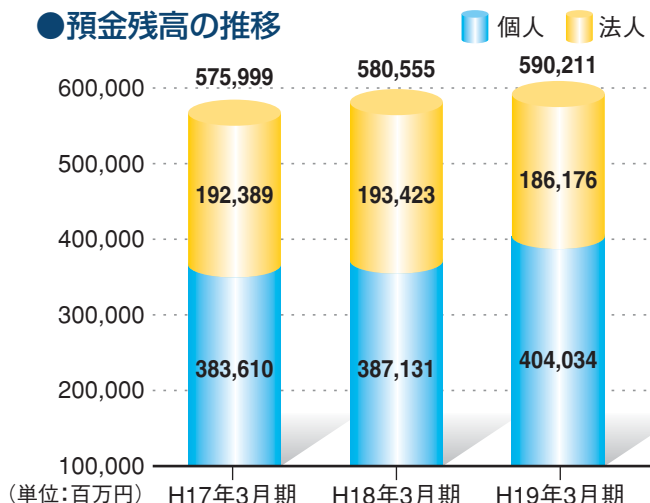
## ●連結自己資本比率



預金残高は前期比96億56百万円増加し、5,902億11百万円となりました。法人預金は前期比減少となりましたが、個人預金については同169億3百万円増加し、4,040億34百万円となりました。個人預金が順調に増加しており、地域から評価をいただいているものと捉えております。

貸出金残高全体では、前期比57億62百万円増加し、4,507億53百万円となり、16年3月期以来3期ぶりに4,500億円台となっております。

## ●預金残高の推移



## ●貸出金残高の推移

